

丹後地域で茶 OJT 研修を実施

令和 2 年度は、丹後地域の茶業振興対策として、丹後農業改良普及センターを中心に中丹東・西普及センター、茶業研究所、農産課が連携し、国営開発農地における栽培方法や製茶技術の一層の向上にむけた推進体制を整えるとともに、OJT 研修による普及センターの若手人材育成を進めています。

丹後地域では、5 月 7 日から一番茶の揉み茶製造が、5 月 18 日からはてん茶製造が開始されたことから、茶業研究所からも職員を派遣し製茶指導を支援しています。日々進む芽の生育に合わせた機械操作や複数ある製茶機械を効率的に稼働させる製茶方法など実践的な研修を実施しています。

本年は、全農茶市場の市況が厳しいことから、より一層の早期摘採による良質茶生産が進められています。



品質を確認している様子

農林センター（茶業研究所）